

第 33 号 平成 26 年 1 月 1 日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (TEL)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360

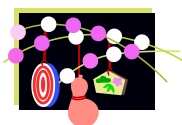
(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>

《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として 喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します。
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため教育・研修を充実します。
- 3 経営の安定化
職員の生活の基盤として、病院の経営状態を安定化します。



新年を迎えて



院長 飛澤 彰

新年、明けましておめでとうございます。皆様には、良い新年をお迎えのことと存じ、御喜び申し上げます。

昨年当院は、日本医療機能評価機構の審査を受け認定されました。特に、以下の4点について、高い評価を受けております。

1. 120年にわたり病院創設の精神(理念・基本方針)が受け継がれ、病院運営の礎となっている。
2. 療養環境の整備については、広大な敷地の自然環境をよく整備された中にある病院はゆとりがあり、病室内の環境は十分に配慮されており、聖堂の設置など患者や職員の精神面の環境にも配慮されている。
3. 診療計画の作成については、入院診療計画などが適切に記載され、患者・家族の同意を得ていることや、計画書には、看護師はじめコメディカルの記載も網羅されている。
4. 症状緩和については、紹介元病院と連携し緩和ケアが提供されている。疼痛評価として新たに STAS-J を取り入れる取り組みが行われており、またスピリチュアルペインについて、心療内科やシスターの参加等が行われ、ホスピス患者の希望するリハビリとは何かも研究されている。



日本医療機能評価機構認定証

以上のような評価を受けた当院は、今年も皆様方のご支援とご協力をいただきながら、医療の質をさらに向上するよう努力してまいります。本年も何卒よろしくお祈り申し上げます。

平成 26 年元旦





カトリック医療施設協会全国大会に参加して



栄養課 伊藤陽子

去る10月25日、26日に福岡県久留米市で行われたカトリック医療施設協会第49回大会に於いて、「自立した生活を少しでも長く送るために～地域高齢者の栄養評価および低栄養予防のための取り組み～」という演題で発表する機会を頂きました。

台風27号の上陸した九州へ飛行機が飛ぶのか気をもみながらの出発でしたが、多少風が強い程度で大した影響もなく無事に福岡へ到着。

大会1日目の発表の際、ちょっとした言い回しから意図せずに会場の笑いをとってしまったため、その後の懇親会ではいろいろな方が声をかけてくださり楽しい時間を過ごすことができました。また、大会2日目の特別企画「カトリック医療施設が直面している倫理的諸問題について」では、具体的な事例を挙げながらカトリック精神と医療との狭間で諸問題をどう考えていくかという議論を行っており、大変興味深く聞かせて頂きました。

久留米を訪れるのは初めてでしたが、移動の電車で耳にする地名は大宰府をはじめ都府楼（とふろう）、天拝山（てんぱいざん）、水城（みずき）など歴史を感じさせるものが多く、この地が九州の政治と文化を司ってきたのだと、歴史が好きな私は古代日本に思いを馳せたりもしました。

一緒に大会へ参加した秋本理事長やSr.小嶋とは移動時間にいろいろなお話をしましたが、久留米ご出身のSr.小嶋が若かりし頃の熱血看護師の様子を面白おかしくお話くださり、長い移動時間も気にならないくらいでした。

他施設の事例発表や興味深い講演を聞いたり自身の研究発表、そしていろいろな方とのふれあいなど今回の大会参加で感じたことや得たものがたくさんありますが、このような機会を与えられたことに感謝するとともに、これら体験を業務に活かせるようこれからも日々励んでいきたいと思えます。



発表の様子

フォトギャラリー



↑ 第2回
ボランティア作品展
(11月)

神山小学校持久走大会
(11月27日) ↓



←
神山小学校4年生
音楽発表会
12月12日



→
座間キャンプ
クリスマス慰問
12月14日

今回のおすすめ



「世界で通用する人がいつもやっていること」

著者 中野信子

IQの世界上位2%の人しか会員になれないMENS Aという組織に入り、世界中の「頭のいい人」を見てきた著者が、世界で通用する人たちの面白くて、ためになる生き方、考え方の一端をテンプレートとして紹介しています。たとえば、『空気は読まない』『いつでも仕事が楽しそう』など…これらのコツやテクニックを身につけて、皆さんも大きな舞台で活躍できるチャンスに挑戦してみませんか？

薬剤師 川口秀俊



第3回 健康教室「認知症とうつと栄養の関係」



飛澤 彰

今年度、神山区のご協力を頂いて5月、8月、11月と3回にわたって行った健康教室が無事終了しました。第3回でご講演いただいた飛澤院長からは健康教室でお話しいただいた内容を簡単に、また、参加者、スタッフの代表からそれぞれ感想を頂きましたのでご報告致します。

「高齢者のうつ」についてお話しさせていただきました。高齢者にうつ病は多くみられます。その原因は、ご本人にとって大変重要な人（配偶者や家族など）を失うこと、健康を失うこと、転居などの環境の変化などが影響します。症状として多いのは、一日中憂うつな気分、楽しめていたことが楽しめない、食欲が減る、夜眠れない、気力がなくなる、自分を責める、死を考える、などがあります。これらの症状が2週間以上続くようであれば、治療が必要です。治療は気分改善薬の服用や、心を支える精神療法が行われます。うつ病は必ず改善する病気ですので早期に治療を開始することが大切です。

健康教室に参加して

神山区区長 戸澤正雄

今年4月に平成25年度のご挨拶に病院へ伺った際、病院より健康教室を神山地区で行いたいと相談を頂きました。神山区では新しい公民館ができたばかりでしたので、せっかく行なうなら病院から外へ出て地域で実施することを提案し、新しい公民館が会場となりました。

第1回「自分の健康・栄養状態を知ろう」、第2回「寝たきりにならないために」、第3回「認知症とうつと栄養の関係」について行いましたが、3回とも繋がりある内容で教えて頂きました。

特に印象に残っているのが、第2回で聞いた姿勢についてのお話です。つつい崩れがちになる姿勢ですが、背筋を伸ばす、崩れていることに気づいたらすぐに直すということが生活する上で大切だと思います。また、3回を通して食事の重要性、食欲のないときには喉を通りやすいような特別な食品を使うなど栄養をどのように補うかが体力の維持につながっていくことを学びました。飛澤院長先生には、認知症とうつでこれからお世話になるかもしれません。毎回30人前後の区民の参加があり、みな自分の事として熱心に健康教室に参加してくれました。このような教室を今後も実施して頂けたら幸いに存じます。

復生病院の方々にはいろいろとお世話頂きありがとうございました。区民を代表して御礼申し上げます。

3回の健康教室を終えて

眞田久美子

11月30日に3回目の健康教室を無事終了する事ができました。

昨年の看護研究で自立した地域高齢者の栄養評価と栄養・健康観を調査したことで、自宅で少しでも長く自立した生活を送ることの大切さを感じ、そのための取り組みとして計画した健康教室でした。しかし、振り返ってみると私たちが教えるというよりも、区長様はじめ参加して下さった皆様に引っ張って頂いて自分自身が楽しんでいたように思います。

残念ながら私は10月で病院を退職してしまいましたが、これからも地域の皆さんと病院が連携し合って健康と食べる事の大切さを学ぶこのような教室が続いていくことを願っています。

この健康教室を実施するにあたりご協力頂いた神山区区長様をはじめ地域の皆様、(株)クリニコの傍島様、(株)ネスレの山本様、講師やスタッフとして参加して下さった復生病院の職員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



リーダー伊藤よりはじめの挨拶



飛澤院長の講演



和気あいあいでリラックス

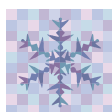


外来担当表



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科(平田) 循環器科(関口) (第3週) 心療内科(飛澤) (予約制)	内科(林)	内科(平田)	内科(林)	内科(江藤) 心療内科 (飛澤) (予約制)	内科(飛澤) 皮膚科 (最終面、皮膚科外来予定 表をご覧ください)	休診
午後	循環器科(関口) (第3週) 14:00~15:30	休診	休診	緩和ケア外来 (平田) (予約制)	休診	休診	

□ インフルエンザの予防接種をご希望の方は受付・外来にご相談下さい。



皮膚科外来予定表

太田 有史 医師			
診察開始	9:00	診察日	1/4 ・ 2/1 ・ 3/1
本田 まりこ 医師			
診察開始	9:00	診察日	1/11 ・ 2/8 ・ 3/8
石地 尚興 医師			
診察開始	9:00	診察日	1/25 ・ 2/22 ・ 3/22

お知らせ：第3、5土曜日の皮膚科外来は休診となります。

□都合等により、休診や代診の場合があります。

お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

皮膚科医師紹介①

太田有史医師

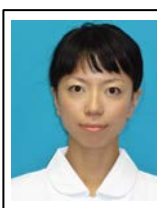


東京慈恵医大学附属病院
皮膚科 診療医長
専門：母斑症
診察日：毎月第1土曜日
(都合により変更あり)

新しい仲間の紹介「宜しくお願いします♪」



吉田 浩美 (療養 看護師)
時間とともに職場に慣れる事ができました。これからもご指導をよろしくお願い致します。



松田 千弘 (ホスピス 看護師)
10月からホスピス病棟に仲間入りしました。日々出合いを大切に頑張ります。



栗田 和弥 (療養 看護補助)
皆さんのお陰で職場にも少しずつ慣れてきました。これからも宜しくお願いします。



永井 祐佳 (薬剤師)
10月より勤務しています。仕事と育児の両立を目指し頑張りますので宜しくお願いします。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。私事ではありますが、去年は災難続きの大変な1年でした。今年は何かハッピーな事がひとつでもあったら... と期待しながら楽しく1年を過ごしたいと思っている私です。

皆様、今年もよろしくお願い致します。

ま

